

第59回「耳の日」実施報告書

平成26年3月3日

一日耳鼻都道府県地方部会から

都道府県	無料相談の実施状況	講演会・映画会などの実施状況	報道機関の協力状況
北海道	<p>耳の日記念「耳の無料相談会」を以下の要領で行った。</p> <p>相談会の内容： 1. 耳と聞こえについての医療相談 2. 聴力測定 3. 福祉相談 4. 補聴器の相談</p> <p>会場： 釧路(平成26年2月16日(日)) 函館(平成26年2月23日(日)) 旭川(平成26年2月20日(木)) 札幌(平成26年3月3日(月))</p>	なし	北海道新聞を通じて宣伝した。当日は北海道新聞社の取材が入った。
青森県	なし	<p>講演会を以下の要領で行った。</p> <p>「市民健康づくり講座」 日時：平成26年3月6日(木)13:30～15:00 場所：八戸ポータルミュージアム「はっち」 演題名：主な耳の病気とその予防 講師：袴田 勝</p>	平成26年3月3日(月)、陸奥新報に「加齢性難聴の予防法」についての記事が掲載された。
岩手県	<p>耳の日無料相談会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成26年3月2日(日) 10:00～13:00 場所：岩手医大循環器センター8階 後援：岩手県、盛岡市、岩手医大、及び各医師会 実施者：医師28名、聴力検査技師3名、補聴器技能士1名、協賛者9名 実施内容：受付・問診後、希望者に聴力簡易検査を施行した(気導500・1000・2000・4000Hz 骨導1000・4000Hz)。その上で医師が個別に耳の診察と検査結果などを説明し今後のアドバイスをを行った。場合によって補聴器相談も施行した(持参した補聴器の調整のみ)。 被災地である沿岸部からの相談者も数名いらっしゃり、平日通院が困難な高齢者も多かった。個人の結果はコピーして相談者にお渡しし、今後医療機関へ受診した時の参考にしてもらった。相談者156名(男性67名・女性89名 14歳～93歳)</p>	なし	盛岡市及び周辺地域の広報・タウン誌・新聞(岩手日報)などを通じて宣伝した。相談会数日前、岩手日報に地方部会会長の佐藤宏昭教授による「耳の日」についての記事が掲載された。また、岩手日報に定期的に掲載されている県医師会からの情報記事「お元気ですか？」のコーナーで、「耳の日」無料相談会を取り上げていただいたので、県全体に行き渡り非常に宣伝になった。また、岩手県地方部会のホームページ上で前回の様子を写真を交えて掲載し宣伝した。
宮城県	<p>1. 平成26年3月9日(日)エル・パーク仙台スタジアムにて11:30～12:00の間に無料医療相談コーナーを設け、計7名の耳鼻咽喉科医の協力を得て7名ほどの相談に応じた。</p> <p>2. 平成26年3月3日(月)～3月9日(日)の9:00～21:00、宮城県地方部会のホームページ上で無料医療相談を行った。</p>	<p>1. 平成26年3月9日(日)エル・パーク仙台スタジアムにて10:00～11:00の間に講演会を行った。今年はせせらぎ耳鼻科 志賀伸之医師の司会のもと、「耳が痛い時のおはなし」東北文化学園大学福祉学部言語聴覚学専攻 松谷幸子教授、「口のガン、のどのガン」東北大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 小川武則講師の講演が行われた。その後、11:00～11:30の間に質疑応答の時間を設けた。聴衆は45名で盛況であった。</p> <p>2. 宮城県地方部会ホームページ上で、耳鼻咽喉科全般にわたる20項目の演題のバーチャル講演会を公開した。</p>	ポスターを仙台市営地下鉄駅(30箇所)、各医療機関(県内の各病院・開業医)、東北大学病院各所、講演内容を要約したチラシを仙台メディアテーク(仙台市立図書館併設)及び各名義後援先(宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県医師会、仙台市医師会、宮城県病院薬剤師会、河北新報社、朝日新聞社仙台支局、毎日新聞社仙台支局、読売新聞社東北総局、産経新聞社東北総局、NHK仙台放送局、仙台放送、TBC東北放送、KHB東日本放送、ミヤギテレビ、ラジオ3、エフエムいわぬま)などに配布した。また、当日会場で配布するチラシを事前に県内の関連病院と開業医に配布し、待合室などで患者さんに渡した。後援先に報道依頼を事前に行ったため、新聞(朝日新聞・河北新報)、情報誌(河北Weekly)からの協力を得て案内を行った。週1回河北新報の朝刊と夕刊に広告を載せ、週1回河北Weeklyなどにも催しの案内をした。

秋田県	右記市民講座において行った。	市民公開講座を以下の要領で行った。 日時：平成26年3月2日(日) 13:00～15:00 場所：秋田市にぎわい交流会館(AU)あう 2F 展示ホール 内容： 1. 講演 1) 「気をつけよう子供の難聴」 小泉達朗 2) 「あきらめないで耳のきこえ」 佐藤輝幸 3) 「補聴器相談室の取り組み」 日本耳鼻咽喉科学会秋田県地方部会補聴器相談室 2. 体験発表 1) 難聴者・中途失聴者 照井貴久 2) 人工内耳体験者 工藤慶悦 3. 専門医による無料相談 20名 4. 補聴器相談室による聴力検査 5. 補聴器の展示と調整 (5社) 6. 難聴者・中途失聴者協会 「みみマーク」の展示 7. 人工内耳の広報 参加者：80名	市民公開講座の実施について、記事掲載(秋田市広報、秋田魁新報社フリーペーパー マリマリ、毎日新聞、読売新聞)
山形県	「耳の日の無料相談」を山形市医師会、身体障がい者更生相談所などの協力の下に、平成26年3月3日(月)、14:00～17:00、山形市総合福祉センターにおいて行った。医師2名で相談にあたり、相談者は35名であった。	なし	1. 山形市の広報に「耳の日の無料相談」についてのお知らせが掲載された。 2. 庄内地区では荘内日報に「耳の日」の記事が掲載された。 3. さくらんぼテレビに無料相談の状況が放映された。
福島県	電話・ファックスによる「耳の相談室」を以下の要領で行った。 日時：平成26年3月3日(月) 18:00～20:00 場所：福島市、郡山市 相談件数：福島市 7件、郡山市 7件 内容： 耳鳴4件、難聴2件、耳鳴と難聴の通院について1件、補聴器について3件、補聴器と人工内耳について1件、身障者認定について1件、聴覚過敏とめまいについて1件、顎関節症の疑い1件	なし	地方紙「福島民報」「福島民友」に耳の日の意見広告を掲載した。(平成26年3月3日付) 内容： 1. 医療機関の広告(福島民報 39医療機関、福島民友 28医療機関) 2. 大森地方部会長(福島医大教授)の記事 1) 耳の日とは? 2) 生まれた時に聞こえの検査をしましょう 3) 後ろからささやき声で呼びかけて、お子さんは聞こえていますか? 4) 少しずつ耳が聞こえにくくなったら… 5) 耳が痛くなったら… 6) 突然聞こえなくなったら… 7) 補聴器・人工内耳とは? 3. 「耳の日相談室」の案内
茨城県	なし	茨城県地方部会ホームページ上にて、「耳の日に寄せて」という啓発活動を実施した。 http://www.geocities.jp/ibarakijibika/	ポスターの配布、掲示を行った。
栃木県	平成26年3月2日(日)11:00～16:00まで東武宇都宮百貨店にて実施した。国立病院機構栃木医療センター、自治医科大学、獨協医科大学より各1名の耳鼻咽喉科専門医が相談医を担当した。相談者総数は64名(男性30名 女性34名)で、例年より少なかった昨年と比較すると256%であった。相談内容は耳鳴りとかゆみ(共に17件)が最も多く、以下難聴(14件)、めまい(7件)、耳だれ(7件)であった。他、耳以外の相談が2件あった。	なし	1. 「下野新聞」平成26年2月28日(金)20面紙上において、「真珠腫性中耳炎」の取材記事とともに無料相談の案内が掲載された。 2. 会場である宇都宮百貨店の協力により、新聞折り込みチラシに「無料相談」の案内が掲載された。
群馬県	平成26年3月2日(日)に例年通り、群馬大学医学部附属病院内「刀城会館」にて、難聴、補聴器・人工内耳の無料相談会を実施した。群馬県地方部会で耳鼻咽喉科専門医の資格のある医師10名で無料相談会を担当した。主な相談内容は難聴の原因、治療や補聴器・人工内耳の相談である。相談者は20名であった。	なし	上毛新聞「健康クラブ」で補聴器と老人性難聴というタイトルで1面で記事を掲載した。また、平成26年3月2日(日)の無料相談会についての広告も掲載した。

埼玉県	なし	第43回「耳の日」記念のつどい講演会を以下の要領で行った。 日時：平成26年3月2日(日) 13:30～ 場所：埼玉県県民健康センター 2F 大ホール 講演： 1.「楽しい聴覚障害乳幼児の療育～親子の『ね!』を大切に、コミュニケーションからことばへ～」北 義子(国立障害者リハビリテーションセンター学院 言語聴覚学科主任教官) 2.「難聴の検査・診断から治療・療育まで～最新情報も織り交ぜながら～」石川浩太郎(国立障害者リハビリテーションセンター病院 第二耳鼻咽喉科医長)	1.埼玉県広報誌「埼玉県民だより」への掲載 2.東京新聞「ショッパー」への掲載
千葉県	耳の健康と補聴器に関する無料相談会を以下の要領で行った。 日時：平成26年3月2日(日)13:00～15:00 場所：浦安市市民プラザWave101 実施者：補聴器相談医5名と日本補聴器販売店協会千葉県部会より支援者20名 後援：浦安市、浦安市医師会 実施内容：問診、診察、聴力検査を施行後、希望者に補聴器相談を行った。 相談者：23名	市民公開講座を以下の要領で行った。 日時：平成26年3月2日(日)10:00～12:00 場所：浦安市市民プラザWave101 後援：浦安市、浦安市医師会 講師および内容： 1.「症状からみた耳の病気」吉田 耕(吉田耳鼻咽喉科医院) 2.「めまいの診断と治療」春山琢男(順天堂大学医学部附属浦安病院耳鼻咽喉科) 参加者：30名	1.浦安市広報に記事が掲載された。 2.浦安市医師会の耳鼻咽喉科施設に耳の日の行事についてのポスターとパンフレットを配布した。
東京都	平成26年3月2日(日)に第59回「耳の日」補聴器・難聴無料相談会を有楽町マリオン11階の朝日スクエアにおいて開催した。当日は44名の相談者が訪れた。都内14の医療施設から補聴器相談医が派遣され、日本補聴器工業会の協賛ならびに朝日新聞厚生文化事業団の後援を受けた。	なし	朝日新聞厚生文化事業団の後援により、2月初旬に朝日新聞紙面に社告として掲載をお願いし相談参加者の募集を行った。
神奈川県	難聴と補聴器の相談会を以下の要領で行った。 日時：平成26年3月9日(日)10:00～17:00 場所：神奈川県総合医療会館 内容： 1.51名の相談者が参加した。耳鼻咽喉科医師が問診、耳の診察を行った。 2.認定補聴器技能者が聴力検査や補聴器の試聴、簡単なフィッティングを行った。 3.耳鼻咽喉科医師と認定補聴器技能者が連携して、相談者の補聴器の装用経験に基づき、助言を行った。 耳鼻咽喉科医師 11名 参加 認定補聴器技能者 21名 参加 補聴器展示(メーカー5社)	なし	相談会参加募集のポスターを作成し、県内各医療機関や老人施設、横浜市各区役所等に貼付し、また、新聞(朝日、毎日、神奈川)、タウン誌にも広告を掲載した。
山梨県	右記講演会の後に、地方部会長と講演者と数名の耳鼻咽喉科専門医による講演内容並びに難聴を中心とした耳鼻咽喉科・頭頸部外科の病気、補聴器に関する相談会を行った。補聴器技能者への相談者も数名おり有意義であった。相談会には10数名が参加し、さまざまな相談があった。	耳の日フェスタ 耳の日記念講演会を以下の要領で行った。 日時：平成26年3月2日(日) 場所：岡島ローヤル会館 8階 ゴールドルーム 内容：講演会は、雪の影響か30名ほどの来場者があった。3年前にもお願いした、東京医科大学病院 耳鼻咽喉科 聴覚・人工内耳センター 河野淳教授に、「人工内耳医療の変遷と最近の話題—赤ちゃんからおじいちゃん・おばあちゃんまで：課題とどこまで進んできたか?—」の講演をしていただき、わかりやすい説明で大変有意義なものであった。	1.ポスターの配布状況；病院・診療所(126枚)、各教育委員会を通じて小・中・高等学校(327枚)、県庁・保健所(12枚)、市町村役場(36枚)、後援・協力機関(20枚)に対して計521枚を配布した。 2.チラシの配布状況、県医師会会員(1200枚)、病院・診療所(1250枚)、学校(1145枚)、県庁・保健所(120枚)、市町村役場(150枚)、後援・協力機関(982枚)、当日配布分(50枚)に対して計4897枚を配布した。 3.報道機関に文書通達で記念事業の宣伝と取材を要請した。地元の山梨放送よりの報道要請があり、当日の夕方のニュースで、耳の日のイベントに関して紹介があった。また、翌日3月3日(月)の山梨日日新聞の「中央道」というコラムにも耳の日のイベントの講演について報道があった。

新潟県	<p>1. 「耳の日」 無料相談会 日時：平成26年2月28日(金) 場所：新潟ユニゾンプラザ(新潟市) 内容：耳鼻咽喉科専門医による無料相談</p> <p>2. 「耳の日」 無料相談会 日時：平成26年3月1日(土) 場所：三条市総合福祉センター(三条市) 内容：耳鼻咽喉科専門医による無料相談</p> <p>3. 無料検診 日時：平成26年3月2日(日) 場所：有料老人ホーム スローライフもんぜん(上越市) 内容：入所者のうち検診希望者に対して耳内診察、聴力検査を行った。</p>	<p>「耳の日」 市民公開講座を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成26年2月28日(金) 場所：新潟ユニゾンプラザ(新潟市) 内容：耳鼻咽喉科専門医による公開講座</p> <p>1. 「聴こえの仕組みと中耳炎」 2. 「聴こえを取り戻す～補聴器と人工内耳について～」</p>	<p>1. 新潟日報で広告(有料) 2. 中央区だよりで広告 3. 越後ジャーナルに掲載 4. 上越よみうりと上越タイムスの取材</p>
富山県	<p>平成26年3月9日(日)にフューチャーシティアフォーレ1階において「耳の日無料相談会」を実施した。相談会には32名が訪れ、日耳鼻会員(開業医2名+大学所属医師ら)だけでなく、看護師、聴覚総合支援学校教員、言語聴覚士、認定補聴器技能者、手話要約筆記サークルなどのスタッフ48名の参加を得て、盛況のうちに終わった。関連機関の連携として、年に一度のイベントとして定着している。</p>	<p>左記無料相談会と併設して、「市民公開講座」を実施した。55名の市民参加者を得て、「ここが聞きたい耳鼻科の病気」というタイトルで、耳以外の疾患についてもシンポジウム形式で講演を行った(司会：將積日出夫、講師：石田正幸、坪田雅仁)。その後、質疑応答を受け付け、熱心な討論があった。</p>	<p>3月3日耳の日に合わせて、北日本新聞、富山新聞への事前の新聞記事広告を行った。当日の相談会の内容は新聞記事(北日本新聞)などで紹介された。</p>
石川県	<p>「耳の日」 難聴相談会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成26年3月2日(日) 10:00～11:00、12:00～12:30</p> <p>内容： 1. 来場者総人数65名。相談希望者、及び医師への相談者は14組。相談医は5名で対応。 2. 補聴器所有者は3名、装用しても会話、テレビ、会合、講演が聞き取りにくいとの訴え。1名は現在のフィッティング調整に不信感あり。 3. 補聴器非保持者は全員聞き取りにくさ、不便さの訴えであった。1名は2歳児で、片側外耳道閉鎖症の幼児。健聴の耳への補聴器装用の必要性の有無を心配。精密医療機関への受診歴、及び精査歴もなく、専門機関受診を勧めた。</p>	<p>左記相談会にて11:00～12:00まで、認定補聴器技能者による「補聴器のメンテナンスと最新情報」、医師による「難聴について」の講演を行った。</p>	<p>1. 平成26年3月2日相談会当日に、北国新聞、北陸中日新聞への広告掲載</p> <p>2. 「耳の日」ポスター及びチラシの県内各病院・診療所への配布</p>
福井県	<p>右記において聴力測定と難聴相談(4名)が行われた。</p>	<p>「耳の日記念フェスティバル2014」を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成26年3月2日(日) 場所：福井市フェニックスプラザ 2F 小ホール</p> <p>内容： 1. 医療公開講座では「聞こえの仕組みと難聴、めまい」をテーマに、福井大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科の山田武千代講師が講演した。</p> <p>2. 県立ろう学校生徒2名による感動的なスピーチと、今村彩子映画監督の東日本大震災後の宮城の2年4ヶ月を取材したドキュメント「架け橋～聞えなかった3.11～」が上映された。</p> <p>参加者：約210名</p>	<p>チラシ(福井県障がい者福祉協会による)を配布した。</p>
長野県	<p>無料相談会を以下の3施設で行った。</p> <p>1. 信州大学附属病院 (平成26年3月3日(月)15:00～16:00)</p> <p>2. 信州上田医療センター (平成26年3月3日(月)14:00～15:00)</p> <p>3. 長野松代総合病院 (平成26年3月3日(月)14:00～15:00)</p>	<p>耳の日市民講座「きこえと補聴器」を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成26年3月9日(日) 場所：長野アークス 内容：きこえのしくみ 日常診療で多い難聴 補聴器の選び方 人工中耳とは? きこえを取り戻す人工内耳 人工内耳装用者体験談</p>	<p>1. 耳の日無料相談実施の連絡(長野県記者クラブ)</p> <p>2. 市民講座後援：abn長野朝日放送、NBS長野放送、SBC信越放送、朝日新聞松本支局、信濃毎日新聞、市民タイムス、長野日報社毎日新聞松本支局、読売新聞長野支局</p>

岐阜県	右記講演会において耳疾患に関する無料相談会を行った。	第20回「耳の日のつどい」を以下の要領で行った。 日時：平成26年3月2日(日) 場所：じゅうろくプラザ 内容：耳疾患および補聴器に関する講演会	中日新聞に「耳の日のつどい」関連記事が掲載された。
静岡県	右記講演の前後に補聴器に関する相談を行った。その場での無料貸し出しも行った。	「耳の日」市民公開講座を以下の要領で行った。 日時：平成26年3月1日(土) 14:00～16:00 場所：静岡市民文化会館 内容： 1. 「聞こえのしくみと高齢者の難聴」 増田正次(杏林大学医学部) 2. 「耳鳴の病態と治療法」 和佐野浩一郎(静岡赤十字病院)	静岡新聞社、静岡放送、NHK静岡放送局
愛知県	右記、市民公開講座終了後に参加者の相談に答えた。	市民公開講座を以下の要領で行った。 日時：平成26年1月25日(土) 14:00～16:00 場所：長久手市「福祉の家」集会室 内容：愛知淑徳大学クリニック 稲福繁院長が「めまい—対策と治療—」というテーマで講演した。 参加者：約100名	1. テレビ愛知 平成26年2月22日(土) 7:00～7:30 「くびの腫れ・しこり」というテーマで解説をした。その際、3月3日も間近であり「耳の日」の意義につき、合わせて解説した。 2. 愛知県耳鼻咽喉科医会作成の健康教育リーフレット「めまい・ふらつき」を監修し、愛知県内の耳鼻咽喉科診療所にて配付し、適宜、質問に答え解説した。
三重県	右記講演会において無料医療相談会を行った。43名参加。	平成26年3月2日(日)伊勢赤十字病院(伊勢市)にて、伊勢赤十字病院 頭頸部・耳鼻咽喉科の山田弘之による「みみの聴こえて困っていませんか?」という講演を実施した。来場者は91名。	ケーブルテレビのアイ・ティ・ビーで講演会前の1週間、パンフレットが画像として放映された。
滋賀県	「耳の無料相談会」を以下の要領で行った。 日時：平成26年3月16日(日) 場所：滋賀県身体障害者更生相談所 滋賀県立長寿社会福祉センター 内容： 1. 耳鼻咽喉科医師2名による検診、助言、指導 2. 聴能技師による聴力検査、補聴器適合検査および装用指導 3. 補聴器の簡単な修理、点検、聴能機器などの展示	なし	なし
京都府	1. 右記講演会において相談会を行った。 内容：耳鼻咽喉科医師による耳に関する相談 2. 耳と補聴器の相談会 日時：平成26年3月6日(木) 場所：京都市身体障害者リハビリテーションセンター 内容： 1) 耳鼻咽喉科医師による医療相談 2) 言語聴覚士による聴力検査 3) 認定補聴器技能者による補聴器に関する相談 相談者：42名	耳の日記念 公開講演会 日時：平成26年3月2日(日) 場所：京都産業会館シルクホール 内容： 主題「聞こえを大切に」 1. 「快適な聞こえのために」 坂口博史(京都府立医科大学) 2. 「新しい人工聴覚器の紹介」 伊藤壽一(京都大学) 参加者：140名	京都市民しんぶん、京都新聞
大阪府	1. 「第50回耳の日特別相談会」を平成26年2月23日(日)に御堂会館(南御堂)で大阪市立大学と東神実業の共催で行った。相談会への参加者は全体で240名であり、そのうち医師との相談を行った人は94名であった。 2. 「第21回補聴器無料相談会」を平成26年3月2日(日)にハートンホテルで大阪府耳鼻咽喉科医会の主催で行った。相談者は47名であった。	平成26年3月2日(日)、毎日新聞オーバルホールにて第18回耳の日セミナー「耳の健康を考える」を行った。主催は大阪府耳鼻咽喉科医会で、一般社団法人大阪府耳鼻咽喉科医会理事 島田健一医師、大阪市立大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉病態学講師 山本秀文医師、関西医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科教授 友田幸一医師が講演した。参加者は400名であった。	1. 毎日放送ラジオ「ドクターM」にて放送、平成26年2月1日(土)、15日(土)に一般社団法人大阪府耳鼻咽喉科医会理事 岡本純一医師が講演した。 2. NHKラジオ「関西ラジオワイド・季節の健康」にて放送、平成26年2月19日(水)に国立病院機構 大阪医療センター耳鼻咽喉科部長 堀井 新医師が講演した。

<p>兵庫県</p>	<p>耳の日無料相談会を以下の要領で行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 神戸大学医学部附属病院 日時：平成26年3月3日(月) 14:00～16:00 場所：耳鼻咽喉科外来 相談者：1名 2. 兵庫医科大学 日時：平成26年3月1日(土) 9:00～10:30 場所：耳鼻咽喉科外来 相談者：10名 3. 神戸市立医療センター中央市民病院 日時：平成26年3月6日(木) 9:00～11:30 場所：耳鼻咽喉科外来 相談者：4名 4. 宝塚市「第24回耳の日の集いと相談会」 日時：平成26年3月2日(日) 10:00～12:00 場所：宝塚市総合福祉センター 相談医：野出美知子(宝塚市) 相談者：10名 5. 播州地区「耳の日の集い」 日時：平成26年3月6日(木) 14:00～16:00 場所：姫路市西保健センター 内容：補聴器相談 認定補聴器店3業者 相談者：14名 6. 神戸地区「耳の日講演会および相談会」 日時：平成26年3月2日(日)13:30～16:00 場所：神戸市勤労会館 7F 大ホール 相談者：78名 	<p>1. 播州地区「耳の日の集い」 日時：平成26年3月6日(木) 14:00～16:00 場所：姫路市西保健センター 講演会：「高齢者の難聴」松本憲明(姫路市) 参加者：39名</p> <p>2. 神戸地区「耳の日講演会および相談会」 日時：平成26年3月2日(日)13:30～16:00 場所：神戸市勤労会館 7F 大ホール 講演会： 1)「耳からくるめまい」 谷本 均(神戸低侵襲がん医療センター) 2)「難聴と耳鳴」 越智尚樹(六甲アイランド病院) 参加者：177名</p>	<p>1. 神戸新聞紙上座談会 平成26年2月23日(日)朝刊掲載 橘 智靖(姫路赤十字病院) 尾関英徳(明石市) 武木田誠一(揖保郡)</p> <p>2. 平成26年2月23日(日)神戸新聞朝刊に 2014年耳の日の行事予定を掲載</p> <p>3. 平成26年3月1日(土)～15日(土) 阪神地区・ケーブルテレビ放送 「聴力改善手術－手術で治る難聴とその治療－」三代康雄(兵庫医科大学)</p>
<p>奈良県</p>	<p>右記講演会において無料相談会を行った。</p> <p>協力者：日耳鼻奈良県地方部会員3名、言語聴覚士1名および全国補聴器販売店協会奈良県支部の補聴器説明員数名、奈良市要約筆記サークル、奈良県医師会職員 内容：無料相談、聴力検査と耳の病気の個人相談や補聴器装用に関する指導などを行った。 参加者：約80名</p>	<p>講演会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成26年2月27日(木) 場所：奈良県中小企業会館(奈良市) 主催：日耳鼻奈良県地方部会、奈良県耳鼻咽喉科医会、奈良県医師会耳鼻咽喉科部会三部会 講演：「耳の病気と補聴器、人工内耳-どうしたら聞こえる?-」細井裕司(奈良県立医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室教授)</p>	<p>奈良県の市町村広報紙、奈良新聞に無料相談・講演会の予告が掲載された。</p>
<p>和歌山県</p>	<p>無料相談を各病院(7施設)で実施した。 相談者は34名であった。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 和歌山県立医科大学附属病院耳鼻咽喉科(平成26年3月7日(金)) 2. 日本赤十字社和歌山医療センター耳鼻咽喉科(平成26年3月3日(月)) 3. 和歌山労災病院耳鼻咽喉科(平成26年3月3日(月)) 4. 済生会有田病院耳鼻咽喉科(平成26年3月3日(月)) 5. 国保日高総合病院耳鼻咽喉科(平成26年3月3日(月)) 6. 社保紀南病院耳鼻咽喉科(平成26年3月7日(金)) 7. 公立那賀病院耳鼻咽喉科(平成26年3月7日(金)) 	<p>なし</p>	<p>県広報室より、新聞社・放送局・情報誌等に資料を配付していただき、数社に無料相談実施日を掲載していただいた。</p>
<p>鳥取県</p>	<p>右記講演会において無料相談会を行った。</p> <p>日時：平成26年3月2日(日) 14:20～16:00 内容：補聴器相談会、人工内耳展示会</p>	<p>第59回耳の日関連行事 講演会を以下の要領で行った。</p> <p>日時：平成26年3月2日(日) 13:30～14:10 場所：米子市福祉保健総合センター「ふれあいの里」 講演： 1. 「聴覚と難聴」矢間敬章(鳥取大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科) 2. 「私のからだ『人工内耳』、そして仲間たち」足立 裕(人工内耳友の会「かがやき」会長)</p>	<p>平成26年3月3日(月)朝日新聞掲載「耳の日」</p>

島根県	右記講演会終了後、無料相談会を実施した。	耳の日講演会を以下の要領で行った。 日時：平成26年3月1日(土) 場所：島根大学医学部附属病院 内容：「聞こえと平衡機能(バランス)の仕組みと耳の病気-小児から高齢者まで-」をテーマに講演会を実施した。 講師：柴田美智子(言語聴覚士) 金築修平(言語聴覚士) 川内秀之(主任教授)	平成26年2月27日(木)山陰中央新報にて、3月1日の講演会、無料相談会の開催告知が掲載された。
岡山県	平成26年3月2日(日)岡山衛生会館にて8名の耳鼻科医が「耳の病気相談」「人工内耳相談」「補聴器相談」を実施した。約20名の相談に応じた。また6名の認定補聴器技能者が「補聴器の無料チェック・クリーニング」を行い、約60名の希望があった。また4名の言語聴覚士が「無料聴力検査」を行い、約50名の希望があった。	平成26年3月2日(日)岡山衛生会館にて「平成25年度耳の日の集い」を開催し、指点字考案者 福島令子さんの講演「日本のヘレンケラーと言われた我が子と共に歩んだ道」と、映画「あぜみちジャンピンッ！」(字幕付き)の上映があり、約250名の参加者があった。	山陽新聞社とテレビせとうちの取材があった。
広島県	第21回難聴・補聴器よろず相談会を以下の要領で行った。 日時：平成26年3月2日(日) 10:00～12:00 場所：世羅町甲山保健福祉センター 主催：日本耳鼻咽喉科学会広島県地方部会 広島県耳鼻咽喉科医会 後援：広島県、世羅郡世羅町 協力：広島県身体障害者更生相談所 入場者数：27名 出務者：医師6名、言語聴覚士3名、広島県身体障害者更生相談所職員3名、補聴器販売店3社	なし	中国新聞に案内を掲載
山口県	なし	耳の日市民公開講座を以下の要領で行った。 日時：平成26年3月1日(土) 13:00～15:00 場所：シルバーふれあいセンター ふれあいホール 内容： テーマ「耳鼻咽喉科領域のアンチエイジング」 1.「のどの老化とアンチエイジング」 原 浩貴(山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野) 2.「老化ときこえ」菅原一真(山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野) 3.「高齢者に多いめまい・ふらつき」 橋本 誠(山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野) 4.「嗅覚味覚障害と加齢の関係～嗅覚障害は認知症のサイン～」御厨剛史(山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学分野)	「耳の日」の広報が地方紙(宇部日報)に掲載された。
徳島県	なし	耳の日講演会を以下の要領で行った。 日時：平成26年3月2日(日) 場所：阿波観光ホテル 内容：「高度難聴と人工内耳」 武田憲明(徳島大学教授)	なし
香川県	耳の日記念講演会終了後、認定補聴器専門店業者とともに補聴器に関する相談を行った。	耳の日記念講演会を以下の要領で行った。 日時：平成26年3月2日(日) 13:30～16:00 場所：三豊市市民交流センター 講演： 1. 難聴のはなし 2. 補聴器の上手な買い方・使い方	耳の日記念講演会の紹介記事が地方新聞(四国新聞)に掲載された。
愛媛県	なし	「第26回愛媛ヒアリング研究会(EHA)」を以下の要領で行った。 日時：平成26年3月2日(日) 13:00～15:30 場所：愛媛大学南加記念ホール	ポスターの配布を行った。

高知県	高知県地方部会のホームページ上で、インターネット無料相談を実施した。	なし	高知新聞へ「急性中耳炎」についての記事を掲載した（インターネット無料相談の案内についても併せて掲載した）。
福岡県	1. 福岡地区耳鼻咽喉科専門医会(五孔会)主催で第26回「耳の日」イベントを平成26年3月2日(日)、アクロス福岡において開催し、多くの来場者が訪れた。コーナー企画としては、昨年同様、睡眠時無呼吸症候群、内視鏡による鼓膜視察、補聴器の相談、ティンパノメトリー、聴力検査、花粉症相談、人工内耳、薬剤師による薬の相談、中途失聴難聴者福祉協会による相談、耳鼻科専門医による無料健康相談、子供の聞こえとことばの相談、講演などを行った。また、福岡県言語聴覚士会が後援団体として参加し「大人のことばと嚥下障がい」の相談のコーナーも行った。また、無料相談は、5時間で123名の相談者が訪れ、のべ25名の耳鼻咽喉科専門医が対応した。各コーナーは今年も昨年を上回る相談者の方が訪れ、盛会となった。また、福岡県地方部会は後援として参加した。 2. 北九州耳鼻咽喉科専門医会では、平成26年3月9日(日)に東部障害者福祉会館「ウェル戸畑」において北九州市難聴者・中途失聴者協会と共催で「平成26年難聴者 耳の日記念市民集会」を開催し、約80名近くの方が来場された。今年も、記念講演と耳鼻咽喉科専門医による耳に関する相談などを31名の方々にを行った。無料相談には、耳鼻科医4人に対応し、耳の診察と聴力検査の結果で今後の方針等についてアドバイスを行った。	1. 福岡地区耳鼻咽喉科専門医会の主催で、第26回「耳の日」の講演会を企画した。テーマは、福岡市薬剤師会 夏山絢子先生に「服薬あるある～薬にまつわる?を解決～」について、柳川リハビリテーション学院 吉永明史先生には、「いつまでも美味しく食べるために」と題し、摂食・嚥下障害への対応を、NPO花粉情報協会理事の横山敏孝先生には「スギの木も悩むスギ花粉症」として、松田耳鼻咽喉科医院院長 松田洋一先生には「難聴と補聴について」ご講演いただいた。また、西畑絵里さんに「夢をあきらめないで」と題しご講演いただき、ダンスを披露していただいた。今年もおおよそ150名近くの方にご来場いただいた。 2. 北九州耳鼻咽喉科専門医会では、平成26年3月9日(日)に「耳のしくみとめまいを起す病気について」製鉄記念八幡病院 耳鼻咽喉科医長 大蔵謙治先生にご講演いただいた。今年も難聴者の方々の日常生活における悩みを解決する方法について分かり易くお話いただいた。来場者は81名の方が訪れた。	1. 福岡地区耳鼻咽喉科専門医会では、本年度より新たにフクオカ・ビーキに掲載された。また、昨年引き続き太宰府市・篠栗町・志免町・須恵町の広報誌、平成26年2月27日(木)朝日新聞、2月13日(木)毎日新聞、2月27日(木)読売新聞、2月13日(木)西日本新聞、福岡市・筑紫野市・大野城市・春日市のホームページ・市政日より、アクロス福岡情報誌にも掲載された。その他、公民館、薬剤師会、補聴器販売店、NPO福岡中失聴者支援福祉協会、福岡県言語聴覚士会を通して、パンフレットを配布し、ポスター掲示を行った。また、福岡市役所の情報プラザ、アクロス福岡の文化観光情報ひろば・福岡市の市民福祉プラザ・健康づくりセンター・総合図書館にパンフレットを配布した。 2. 北九州耳鼻咽喉科専門医会では、北九州市政日より、福祉施設・耳鼻咽喉科医院・認定補聴器専門店などに案内文を掲載した。
佐賀県	耳の日無料相談会を以下の要領で行った。 日時:平成26年3月2日(日)10:00～12:00 場所:「道の駅」大和そよかぜ館 研修室 内容:佐賀大学耳鼻咽喉科医師による問診・診察・相談、場合によって協賛社からの協力のもと聴力検査、補聴器相談を行った。 協力医師7名、協賛社3名、相談者18名	なし	1. 平成26年3月3日(日)付 佐賀新聞に第59回「耳の日」の広告を掲載した。 2. 平成26年2月15日(土)付 さが市報とフリーペーパー1社に「耳の日無料相談会」の開催告知を行った。
長崎県	右記講演会において無料相談会を行った。 日時:平成26年2月23日(日) 場所:アルカスSASEBO 1階イベントホール 内容:補聴器、人工内耳について	第17回公開講座を以下の要領で行った。 日時:平成26年2月23日(日) 場所:アルカスSASEBO 1階イベントホール 内容: 1. 痛くない中耳炎(滲出性中耳炎) 2. 鼻(はな)のしくみと働き 3. めまいをおこす病気について-耳からおこるめまいと頭からおこるめまい-	テレビ佐世保: 耳の日公開講座&相談会のお知らせ
熊本県	なし	一般向けの講演会を以下の要領で行った 日時:平成26年3月8日(土) 13:00～16:00 場所:玉名市民会館 第2会議室 主催:日本耳鼻咽喉科学会熊本県地方部会 共催:熊本大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 熊本県難聴者中途失聴者協会 内容:「人工内耳について」 人工内耳装用者の体験発表(2名) 質疑応答 講師:鯨島靖浩 (熊本大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科) 参加者:約30名	なし
大分県	平成26年3月2日(日)、10:00～13:00までトキハわさだタウン(大分市)において第14回耳の日無料相談会を開催した。70名の相談者があった。	なし	平成26年3月1日(土)、大分合同新聞に難聴の身体障害者認定についての記事を掲載した。

宮崎県	平成26年3月1日(土) 14:30～16:30の2時間、無料相談会を実施した。8つの一般相談ブース、1つの補聴器相談ブースを作り、日耳鼻専門医の医師及び言語聴覚士が対応した。計41名と昨年までに比べて来場者数が減少した。来場者へのアンケートでは好評な意見を多数いただいた。相談件数としては難聴の相談が多かった。	平成26年3月1日(土) 13:30～14:30の1時間、講演会を実施した。「赤ちゃんと子供の難聴について」、「お年寄りの難聴とめまいについて」と題して2講演行った。熱心にメモをとって聴講される方も多く、大変好評であった。	例年通り県内の主要マスコミへのプレスリリースや新聞広告による宣伝、補聴器販売店舗での宣伝活動協力、県の健康づくり協会での保健師や学校教諭等への宣伝活動協力をいただいた。
鹿児島県	なし	第7回耳の日ならびにアレルギー週間公開講座を以下の要領で行った。 日時：平成26年3月1日(土)13:00～14:10 場所：鹿児島市勤労者交流センター 内容： 1. 「先天性難聴の早期発見と治療の現況」 宮之原郁代（鹿児島大学耳鼻咽喉科） 2. 「超高齢社会におけるよりよい聞こえのために-上手な補聴器の選び方-」 川島雅樹（鹿児島大学耳鼻咽喉科） 3. 「アレルギー性鼻炎-上手なセルフケアから最新情報まで-」 宮下圭一（鹿児島大学耳鼻咽喉科）	なし
沖縄県	右記講演会に併設する形で耳の日無料相談を実施した。相談者は9名であった。	市民公開講座耳の日講演会を以下の要領で行った。 日時：平成26年3月9日(日) 場所：沖縄県男女共同参画センターていりる 講演内容： 1. 本当は怖い中耳炎のはなし 2. あなたの顔面神経マヒは耳から？ 3. 聞こえを取り戻す 参加者：53名	平成26年2月25日(火)の琉球放送(RBC iラジオ)において耳の日についてのインタビューと市民公開講座耳の日講演会についての報道協力を得た。